

10. 空き家及び防犯・交通安全に関する意識について

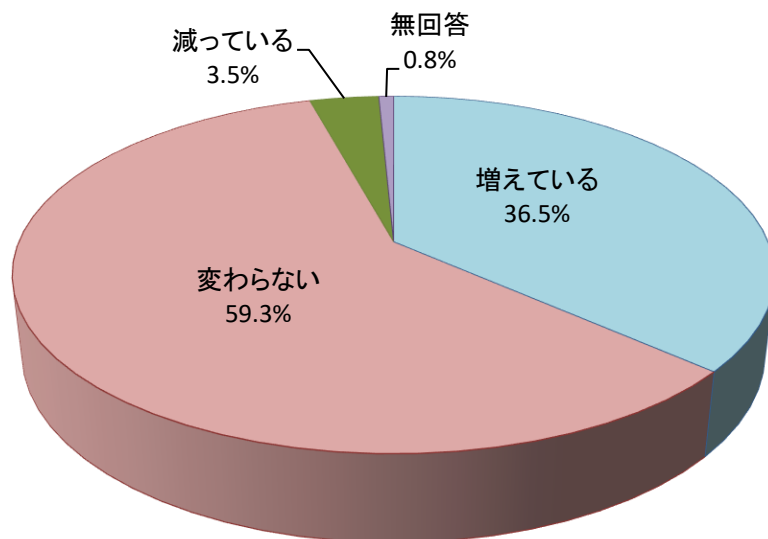
(1) 管理が不十分な空き家が増えていると感じるか

◇「変わらない」が約6割

問37 あなたの住まいの近所で、建物の一部が敷地外に崩れ落ちたり、生い茂った草木が隣地にはみ出したりするなど、管理が不十分な空き家が増えていると感じますか。(○は1つ)

		n=400
1	増えている	36.5%
2	変わらない	59.3%
3	減っている	3.5%
	(無回答)	0.8%

<図IV-10-1>全体



n=400

管理が不十分な空き家が増えていると感じるかについては、「変わらない」が59.3%で最も高かった。(図IV-10-1)

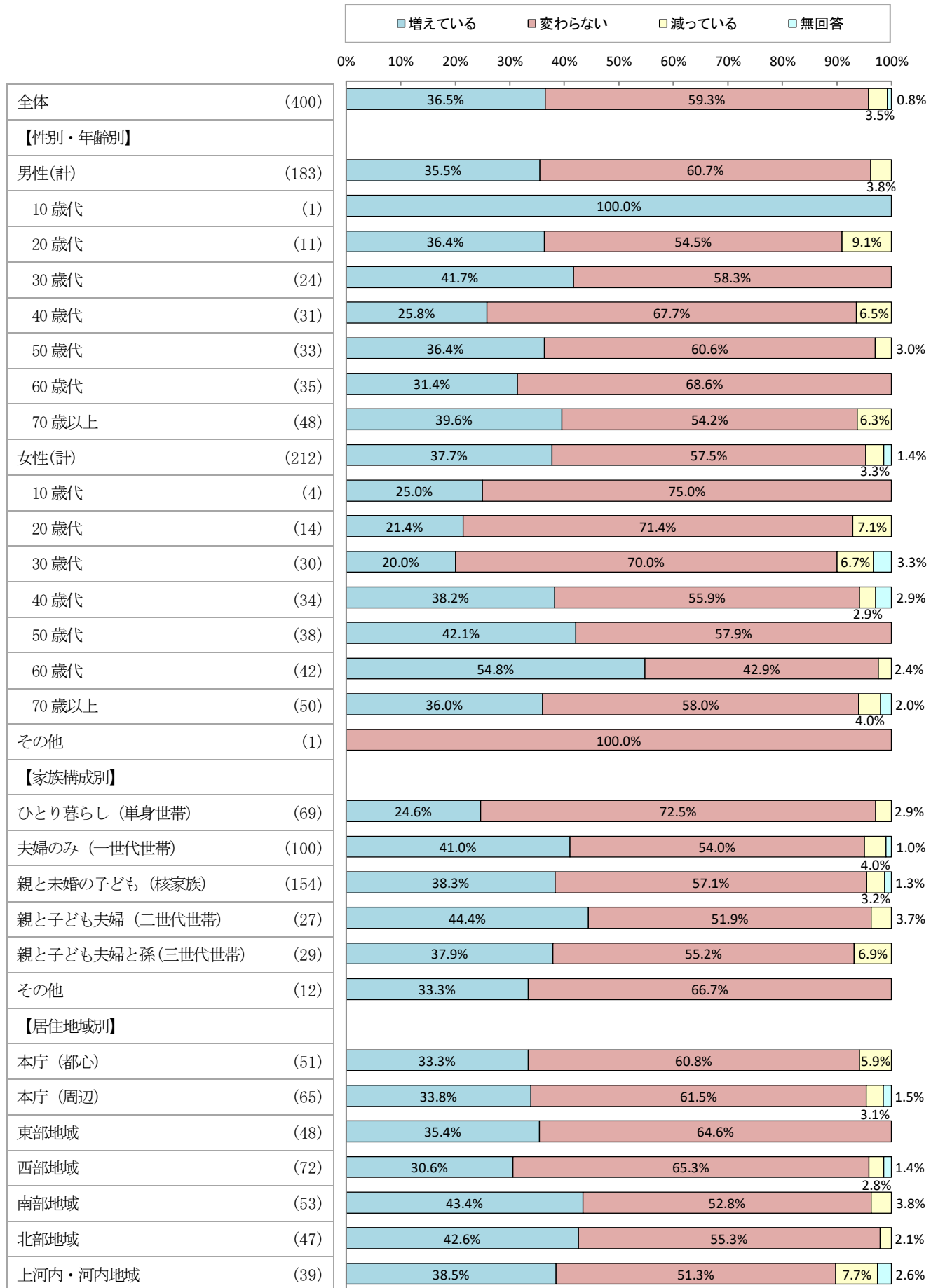
<参考>

性別・年齢別で見ると、「変わらない」は<その他>が100.0%で最も高く、次いで<女性/10歳代>が75.0%であった。「増えている」は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が54.8%であった。(図IV-10-2)

家族構成別で見ると、「変わらない」は<ひとり暮らし(単身世帯)>が72.5%で最も高く、次いで<その他>を除くと<親と未婚の子ども(核家族)>が57.1%であった。「増えている」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が44.4%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世帯世帯)>が41.0%であった。(図IV-10-2)

居住地域別で見ると、「変わらない」は<西部地域>が65.3%で最も高かった。「増えている」は<南部地域>が43.4%で最も高かった。(図IV-10-2)

<図IV-10-2>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

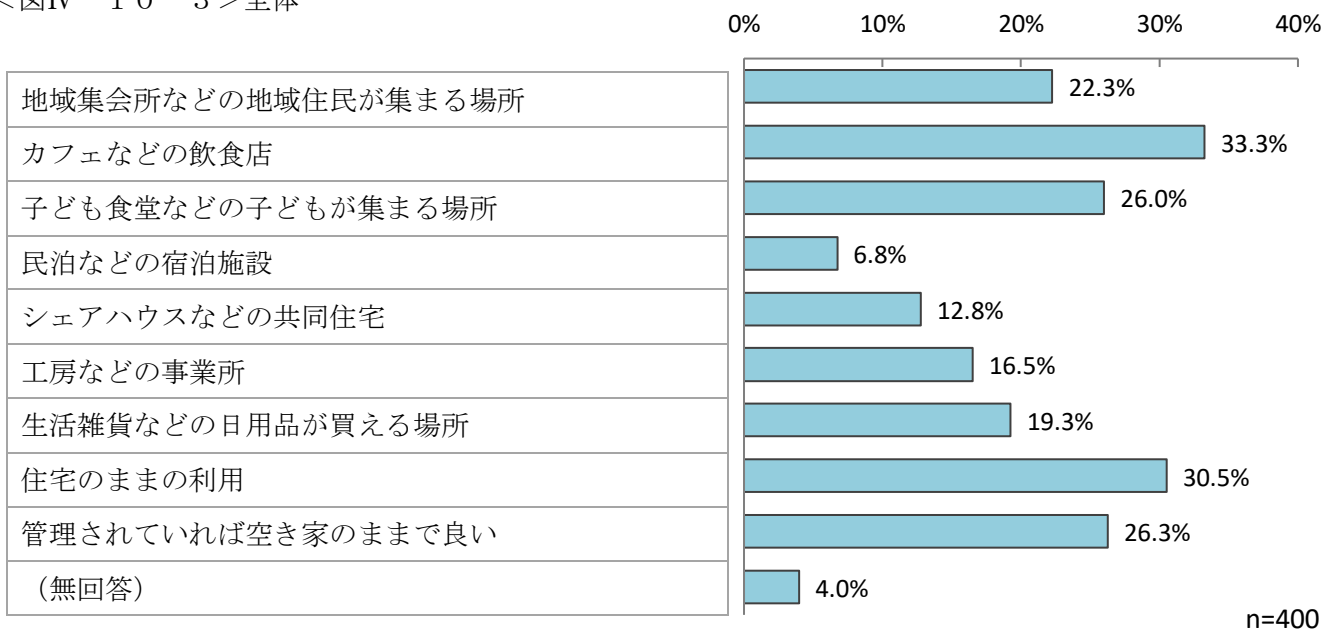


(2) 近所の空き家の活用方法

◇ 「カフェなどの飲食店」が3割強

問38	近所の空き家が、どのように活用されると良いと思いますか。	(○はいくつでも)
		n=400
1	地域集会所などの地域住民が集まる場所	22.3%
2	カフェなどの飲食店	33.3%
3	子ども食堂などの子どもが集まる場所	26.0%
4	民泊などの宿泊施設	6.8%
5	シェアハウスなどの共同住宅	12.8%
6	工房などの事業所	16.5%
7	生活雑貨などの日用品が買える場所	19.3%
8	住宅のままの利用	30.5%
9	管理されていれば空き家のままで良い	26.3%
	(無回答)	4.0%

<図IV-10-3>全体



近所の空き家の活用方法については、「カフェなどの飲食店」が33.3%で最も高く、次いで「住宅のままの利用」が30.5%と続いている。(図IV-10-3)

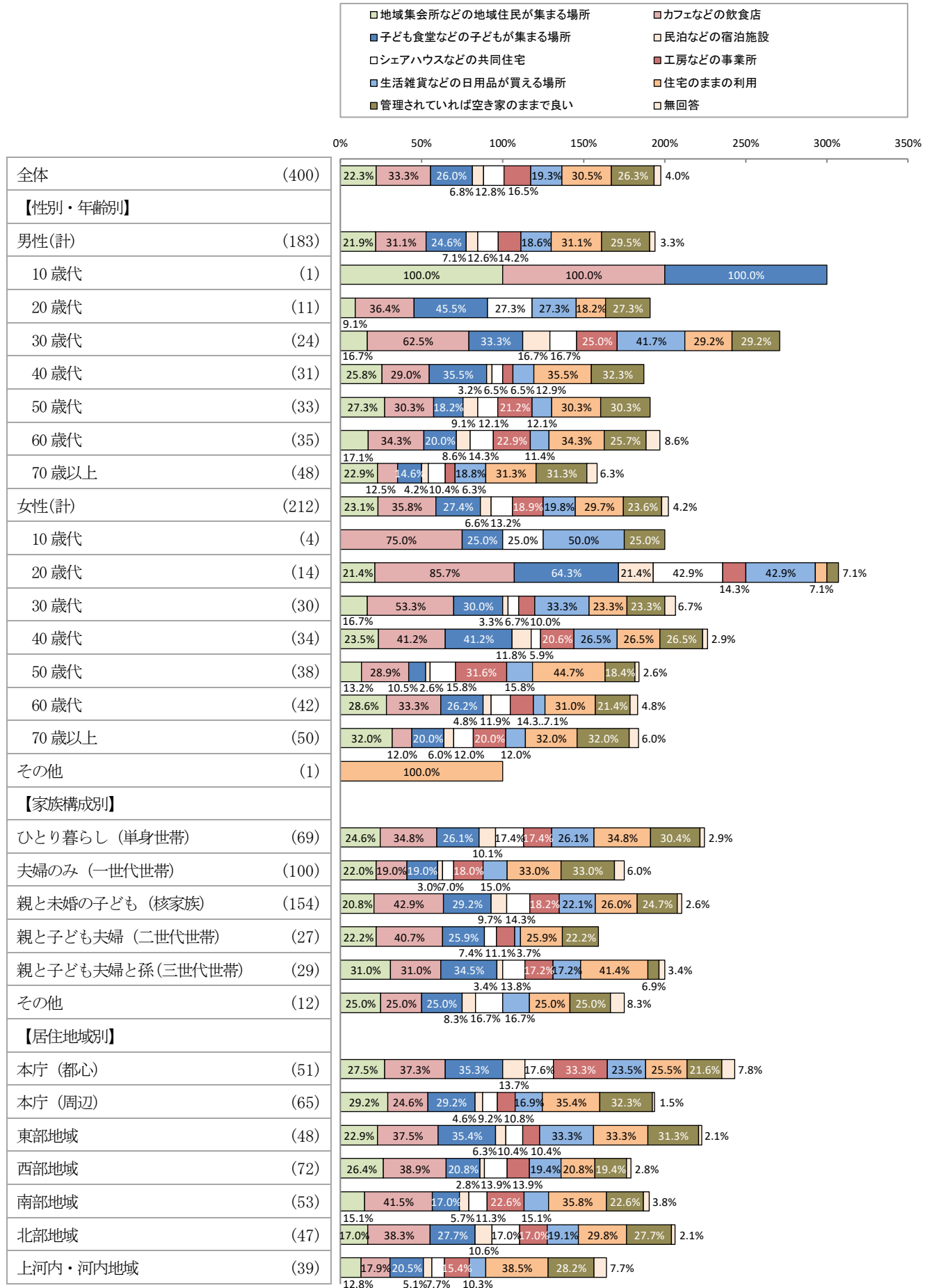
<参考>

性別・年齢別でみると、「カフェなどの飲食店」は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<女性/20歳代>が85.7%と続いている。「住宅のままの利用」は<女性/50歳代>が44.7%で最も高く、次いで<男性/40歳以上>が35.5%であった。(図IV-10-4)

家族構成別でみると、「カフェなどの飲食店」は<親と未婚の子ども(核家族)>が42.9%で最も高かった。「住宅のままの利用」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が41.4%で最も高かった。(図IV-10-4)

居住地域別でみると、「カフェなどの飲食店」は<南部地域>が41.5%で最も高かった。「住宅のままの利用」は<上河内・河内地域>が38.5%で最も高かった。(図IV-10-4)

<図IV-10-4>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

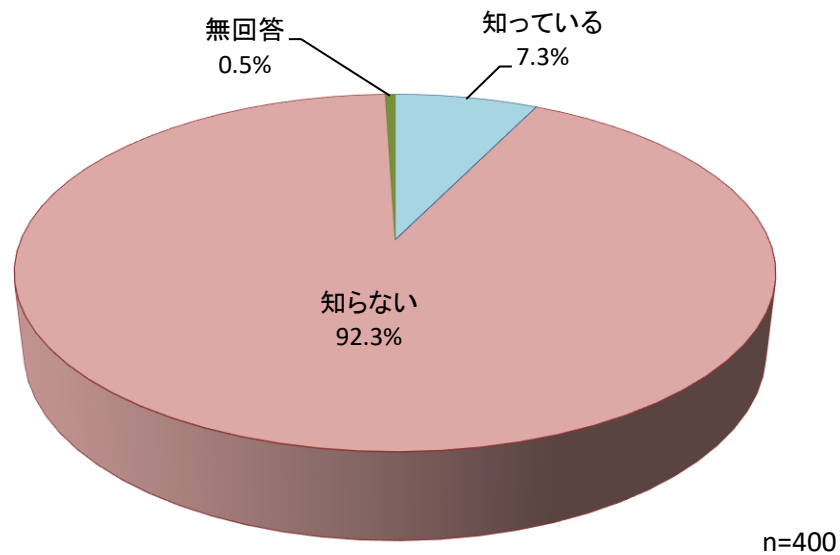


(3) 「宇都宮空き家会議」の認知度

◇ 「知らない」が9割強

問39	空き家の所有者と利用希望者をマッチングする事業や空き家を活用して地域集会所の整備支援などに取り組んでいる官民連携組織「宇都宮空き家会議」を知っていますか。(○は1つ)	n=400
1	知っている	7.3%
2	知らない	92.3%
	(無回答)	0.5%

<図IV-10-5>全体



「宇都宮空き家会議」の認知度については、「知っている」が7.3%、「知らない」が92.3%であった。(図IV-10-5)

<参考>

性別・年齢別でみると、「知らない」は<その他>を除く<男性/10歳代>、<男性/20歳代>、<男性/40歳代>、<女性/10歳代>がいずれも100.0%で最も高かった。一方、「知っている」は<女性/70歳以上>が12.0%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が11.9%であった。(図IV-10-6)

家族構成別でみると、「知らない」は<その他>を除く<夫婦のみ(一世代世帯)>が93.0%で最も高かった。一方、「知っている」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が10.3%で最も高かった。(図IV-10-6)

居住地域別でみると、「知らない」は<北部地域>が95.7%で最も高かった。一方、「知っている」は<本庁(周辺)>が10.8%で最も高かった。(図IV-10-6)

<図IV-10-6>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

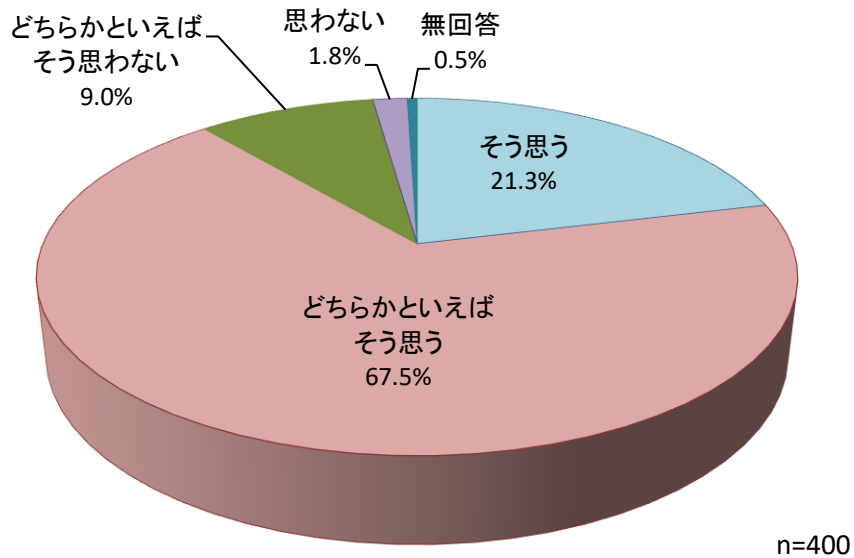


(4) 安心して暮らすことができていると思うか

◇ 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う（計）】が約9割

問40	宇都宮市では、犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指した取組を推進していますが、あなたは普段、宇都宮市で生活する中で、安心して暮らすことができていると思いますか。（○は1つ）	n=400
1	そう思う	21.3%
2	どちらかといえばそう思う	67.5%
3	どちらかといえばそう思わない	9.0%
4	思わない	1.8%
	(無回答)	0.5%

<図IV-10-7>全体



安心して暮らすことができていると思うかについては、「そう思う」が21.3%、「どちらかといえばそう思う」が67.5%で、これらを合わせた【そう思う（計）】が88.8%であった。一方、「どちらかといえばそう思わない」9.0%、「思わない」1.8%で、これらを合わせた【そう思わない（計）】は10.8%であった。（図IV-10-7）

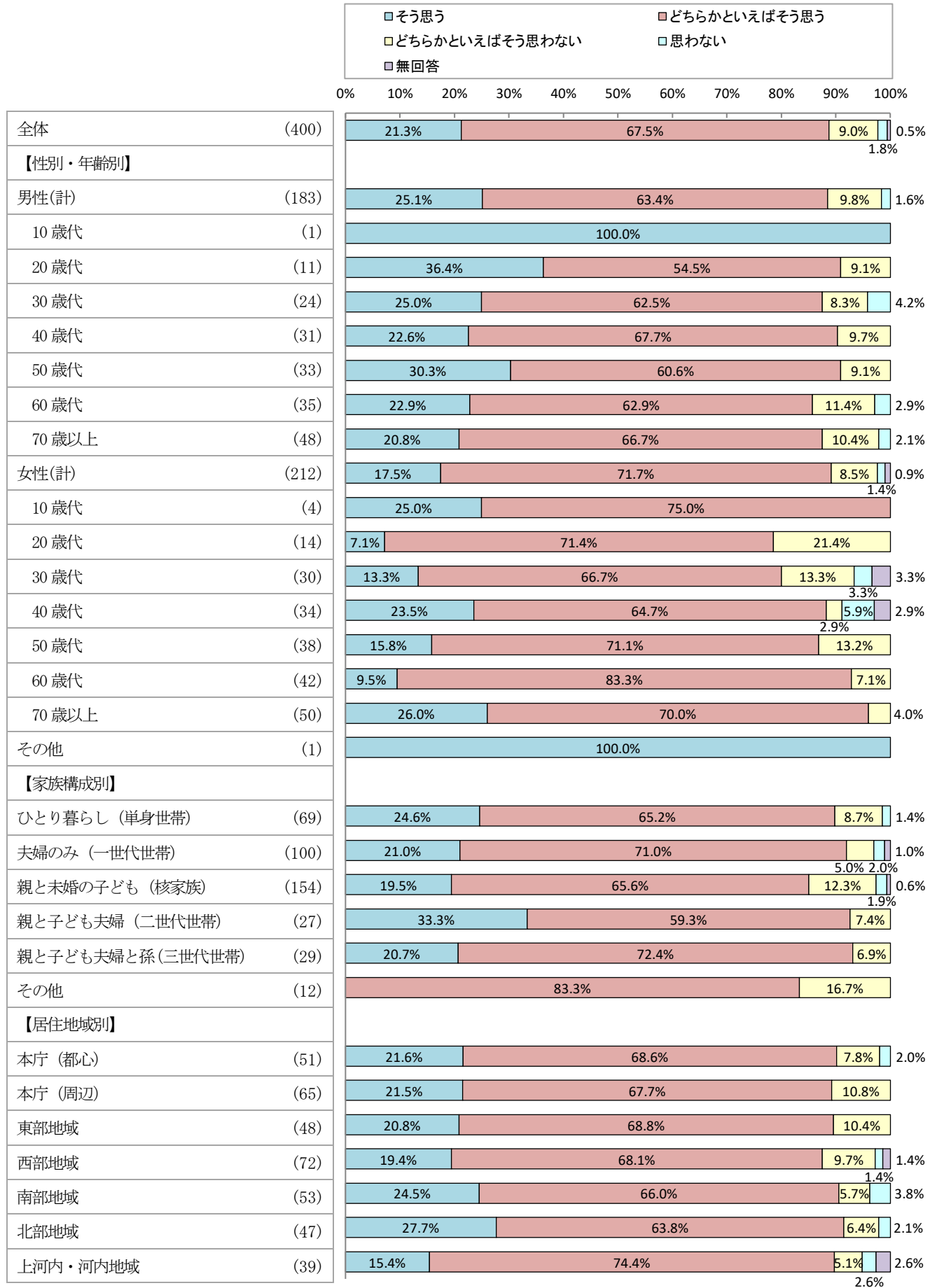
<参考>

性別・年齢別でみると、【そう思う（計）】は<男性/10歳代>、<女性/10歳代>、<その他>がいずれも100.0%で最も高かった。【そう思わない（計）】は<女性/20歳代>が21.4%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が16.6%であった。（図IV-10-8）

家族構成別でみると、【そう思う（計）】は<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が93.1%で最も高かった。【そう思わない（計）】は<親と未婚の子ども（核家族）>が14.3%で最も高かった。（図IV-10-8）

居住地域別でみると、【そう思う（計）】は<北部地域>が91.5%で最も高かった。【そう思わない（計）】は<西部地域>が11.1%で最も高かった。（図IV-10-8）

<図IV-10-8>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

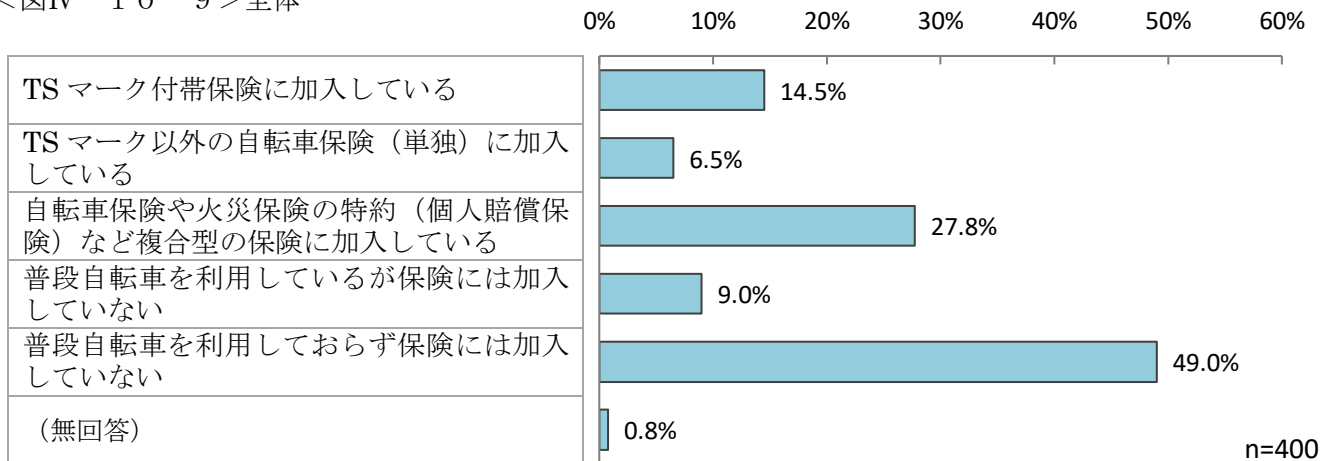


(5) 自転車保険の加入状況

◇ 「普段自転車を利用しておらず保険には加入していない」が約5割

問 4 1	宇都宮市では、「交通事故のない社会」を目指し、総合的な交通安全対策を推進していますが、あなたは、自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手のけがの治療費などを補償する保険（自転車保険）に加入していますか。	(○はいくつでも)	n=400
1	TS マーク付帯保険に加入している		14.5%
2	TS マーク以外の自転車保険（単独）に加入している		6.5%
3	自転車保険や火災保険の特約（個人賠償保険）など複合型の保険に加入している		27.8%
4	普段自転車を利用しているが保険には加入していない		9.0%
5	普段自転車を利用しておらず保険には加入していない		49.0%
	(無回答)		0.8%

<図IV-10-9>全体



自転車保険の加入状況については、「普段自転車を利用しておらず保険には加入していない」が 49.0%で最も高く、次いで「自転車保険や火災保険の特約（個人賠償保険）など複合型の保険に加入している」が 27.8%、「TS マーク付帯保険に加入している」が 14.5%と続いている。（図IV-10-9）

<参考>

性別・年齢別でみると、「普段自転車を利用しておらず保険には加入していない」は<女性/10 歳代>が 75.0%で最も高く、次いで<女性/30 歳代>が 70.0%と続いている。「自動車保険や火災保険の特約（個人賠償保険）など複合型の保険に加入している」は<男性/60 歳代>が 37.1%で最も高く、次いで<男性/40 歳代>が 35.5%であった。（図IV-10-10）

家族構成別でみると、「普段自転車を利用しておらず保険には加入していない」は、<ひとり暮らし（単身世帯）>が 59.4%で最も高かった。「自動車保険や火災保険の特約（個人賠償保険）など複合型の保険に加入している」は<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が 31.0%で最も高かった。（図IV-10-10）

居住地域別でみると、「普段自転車を利用しておらず保険には加入していない」は<西部地域>が 54.2%で最も高かった。「自動車保険や火災保険の特約（個人賠償保険）など複合型の保険に加入している」は<北部地域>が 34.0%で最も高かった。（図IV-10-10）

<図IV-10-10>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

